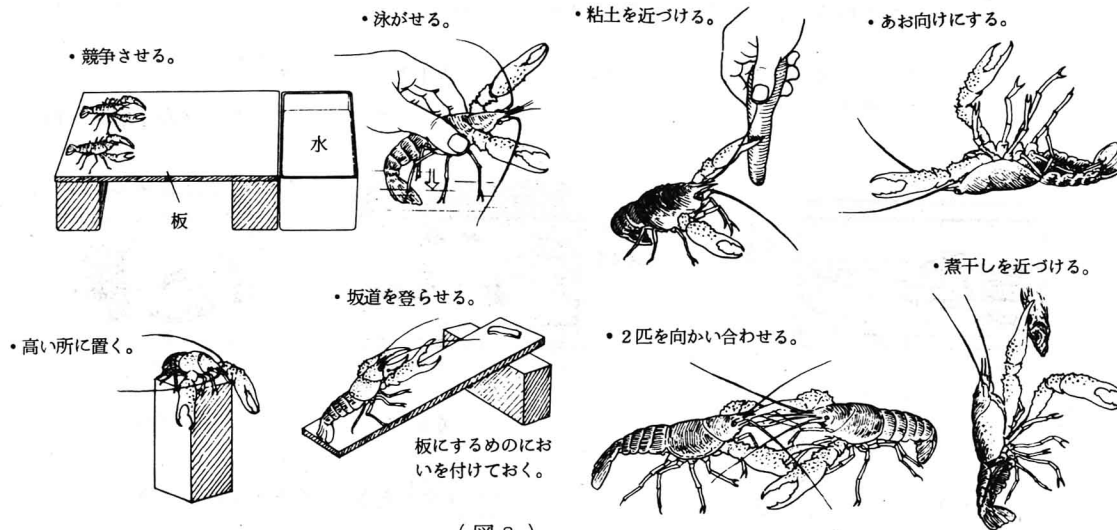


例2 ザリガニと遊ぼう。(図8)

※ 体の部分の動かし方や移動の方向、速さなど視点を変えて多面的に見させる。



(図8)

(教育同人社)

例3 いろいろな水中の生きものの動きを調べよう。(図9、10)



(図9)

(図10) (東書)

例4 水中の生きものや食べものや動きの様子を記録する。

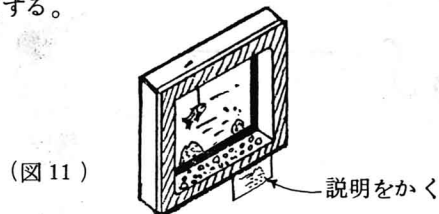
例5 生きものをよく見て粘土で作ったり、絵にかいたり、身体表現したりする。

※ 図工科「すきなどうぶつ」などとの合科的指導も考えられる。

水中の生きものの居場所や形、動きなどの特徴を総合的にとらえさせる。

例1 空箱や画用紙、粘土などを使って水族館を作ろう。(図11)

※ 学習のまとめとして製作活動をさせ、生きものやそれを取りまく自然を見直しさせる。図工科との合科的指導も考慮する。



(図11)